

2023

医療法人社団 誠和会



はせだより

広報



第24回「めいろう夏まつり」が開催されました

◆約4年ぶりお祭り復活に、喜びの声があがりました

久しぶりとなる「めいろう夏まつり」の開催に、多くの方が足を運びました。

当院は救護所の設置と会場内巡回を担当し、体調不良者や負傷者の早期発見と、安全に楽しんでいただくためのサポートをさせていただきました。

会場には様々なアミューズメントも用意されており、お子さまからご年配の方まで楽しめるような体験コーナーや屋台が多く並びました。広場では、「クルマdeピアノ」にて

「前田 優奈さん」「合屋 祐奏さん」によるスペシャルライブや和太鼓演奏、盆踊りなどが行われ、終始にぎわいました。

最後は、八街の夜空を焦がす「打ち上げ花火」で幕を閉じました。「ひゅ〜・・・ドンッ!」という、弾ける火花の音が次々と上がり、真っ暗な夜空が彩られていく様子に、観客の皆さまも思わず息を呑んだことでしょう。最後の花火が咲き終わると、会場は感嘆の声と拍手に包まれて閉会しました。

救護室内の様子



▲皆さまが安全にお楽しみいただけるようにサポートいたします



▲副院長の菊池が、会場にて診察・処置を行いました

「みんなで楽しめる」お祭りを目指しています!



▲朝日太鼓&八街和楽太鼓による演奏
幅広い年齢層の方が演奏に参加しており、力強い和太鼓の音が体の芯まで響く素晴らしい演奏でした。



▲ダウン症のある子と親の会ジュピター
地域の人々と障害がある方がふれあう貴重な機会を盛り上げてくれました。笑顔で踊る姿に気持ちも明るくなります。



▲夏まつりの定番「盆踊り」を披露
橘の会・舞踊連盟の皆さまと朝日太鼓&八街和楽太鼓の皆さまによる、美しくも活気溢れる踊りに目が離せません。



▲地震体験車 まもるくんで早期対策
八街市防災課のご協力により、災害に対する意識・知識の向上を図るため、用意されました。車椅子の方も体験できるのでご家庭で早期対策できます。



▲「八街地域活性隊」が祭りをサポート
八街市立朝陽小学校の皆さまが「八街地域活性隊」として参加し、八街にまつわるクイズ大会でイベントを盛り上げました。



▲八街市唯一の大火火大会に観客殺到
めいろう夏まつりは多くの方に支援されています。市内唯一の花火大会ということもあり、毎年多くの方がいらっしやいます。

◆お月見の始まりについてご紹介します

日本のお月見は、平安時代に中国の“観月の宴”と呼ばれる風習が伝わったと言われています。日本の「月を觀賞する」という習慣自体は縄文時代からあったと考えられており、十五夜を「芋名月」、十三夜を「栗名月」「豆名月」と呼ぶ習慣は当時の主食であった「芋・栗・豆」が由来となっています。そんな主食である芋や栗が収穫を迎える秋は、空気が澄んで一層美しく見える月を觀賞するとともに、収穫物への感謝を捧げたのが原初的なお月見と言われています。江戸時代後期には、お月見団子を供える習慣が主流となりましたが、お供えの意味は変わっていません。(事務員R)

入院・転院のご相談

<空所情報>※9/5現在
回復期病棟(8床) 療養病棟(0床)
ホームページで確認できます

医療法人社団誠和会長谷川病院
■地域連携部(MSW): 渡邊、山本、安部
TEL: 043(444)0137
FAX: 043(444)0257
HP: <http://www.hphasegawa.or.jp/wp/>

